

農福連携による 出荷調整作業

新鮮な「丹波黒大豆枝豆」を いち早く消費者に！



エダマメ用コンバインで圃場で直接刈り取り作業



きれいに脱穀されて出てきた枝豆

今年も「兵庫県産丹波黒大豆枝豆」の出荷時期となり、旬の枝豆を消費者に届けるため10月初旬から出荷作業を行いました。

特に、枝豆は増産をはかっており、枝を落とし莢だけにして袋詰めした商品の出荷は短期間に集中して行う作業ですが、昨年度に引き続き宍粟市内の就労継続支援B型の1福祉事業所と農福連携し、出荷調整の作業補助をJA職員と総がかりに行っていました。

まず、圃場から宍粟北農業振興協議会の支援により購入した枝豆専用のコンバインで脱穀したものの、圃場で刈り取った枝付きを倉庫に持ち帰り、脱穀機によつて莢を取って選別したものを袋詰めしていきました。

この農福連携は、西播地域の障害のある方の農業分野での活躍機会を広げ、自信や生きがいを持つて社会参画を実現することを目指し、光都農林事務所や龍野健康福祉事務所、宍粟市が中心となつて推進しており、JAも全面的に協力体制を整えて参画しています。

JAとしては、事業所の利用者の作業により人員体制が充実したことで能率が上がり、鮮度が命の「丹波黒大豆枝豆」を、消費者にいち早く届けることができ大助かりでした。

地域貢献活動といった意味も含め、地域に根ざすJAとして、今後もこの農福連携事業に積極的にいかわつていくことにしています。



正確に計量していきます（農福連携作業）



袋詰め作業（農福連携作業）



枝ごと持ち込んで脱穀作業